

問1

神社の基本的な配置に関する問題です。神社にはさまざまな建物があります。神様がお鎮まりになっているところをご本殿ですが、一般的に、そのご本殿の前にあり、お参りをするところとは何でしょうか。

1. 拝殿 (はいでん)
2. 神楽 (かぐら) 殿
3. 幣 (へい) 殿
4. 手水舎

➔『神社のいろは』14 ページ「鳥居について教えてください」、16 ページ「ご本殿、拝殿について教えてください」

正解 1

問2

以下の文章の空欄【 】に入る言葉として正しいものを選んでください。

神社によっては狛犬(こまいぬ)だけでなく、別の動物の像を見つけることもできます。例えば、稲荷神社の狐や天満宮の牛、春日大社の鹿などです。これは祀られている神様の【 】です。鳥や獣、魚とさまざまで、動物が神意を伝えるという話は、『古事記』や『日本書紀』にも見られます。

1. 神使 (しんし)
2. 導師 (どうし)
3. 神徒 (しんと)
4. 式神 (しきがみ)

❖ 解説 ❖

式神は陰陽道に関連する言葉です。

➔『神社のいろは』24 ページ「狛犬、石灯笼について教えてください」

正解 1

問3

以下の「拝礼、拍手」に関する記述のうち間違っているものを選んでください。

1. 『日本書紀』には、天皇が即位されるときに、群臣たちが手を打って拝礼したことが記されている。
2. 明治時代は「四拝二拍手一拝」という作法が一般的だった。
3. 出雲大社では「二拝四拍手一拝」という拝礼作法をとっている。
4. 現在の神前での拝礼の一般的な基本作法は「二拝二拍手一拝」である。

➔『神社のいろは』38 ページ「拝礼、拍手の仕方について教えてください」

正解 2

問4

以下の文章の空欄【 】に入る言葉として正しいものはどれでしょうか。

御幣（ごへい）の「幣」とは【 】を意味している。

1. 鏡 2. 勾玉 3. 金銭 4. 布

→『神社のいろは』40ページ「鏡と御幣について教えてください」

正解 4

問5

拝殿の中で、榊（さかき）に五色の布を垂らしたものをよく見かけます。これを何というでしょうか。

1. 五色の榊 2. 玉榊
3. 真榊 4. 陰陽（おんみょう）の榊

→『神社のいろは』42ページ「真榊と五色布について教えてください」

正解 3

問6

神社の拝殿などで、「青龍（せいりゅう）」「朱雀（すざく）」「白虎（びゃっこ）」「玄武（げんぶ／亀）」が描かれている旗を見かけることがあります。これは一般に何と呼ばれているでしょうか。

1. 四色（ししき）旗
2. 四神（しじん）旗
3. 陰陽（おんみょう）旗
4. 五行（ごぎょう）旗

→『神社のいろは』42ページ「真榊と五色布について教えてください」

正解 2

問7

以下の文章の空欄【 】に入る言葉として正しいものを選んでください。

平安時代に編纂された「延喜式神名帳（えんぎしきじんみょうちょう）」に収録されている神社のご祭神は、【 】を単位に数えられています。

1. 雲 2. 柱 3. 座 4. 棹

➡『神社のいろは』45ページ「お札やお守り、神様の数え方について教えてください」

正解 3

問8

以下の文章の空欄【 】に入る言葉として正しいものはどれでしょうか。

改まって参拝したいときや、特別な祈願がある場合には、社務所か授与所で申し込み、拝殿内で参拝することができます。神社によっては神楽殿で行う場合もありますが、これを昇殿(しょうでん)参拝、もしくは【 】といいます。とくに願い事に関する祝詞(のりと)をあげてもらう場合には、ご祈願やご祈禱ともいいます。

- | | |
|---------|---------|
| 1. 神前参拝 | 2. 相伝参拝 |
| 3. 正式参拝 | 4. 献饌参拝 |

➡『神社のいろは』48ページ「昇殿参拝の作法①玉串料と服装について教えてください」

正解 3

問9

以下の文章の空欄【 】に入る言葉として最もふさわしいものを選んでください。

敬礼の作法には、拝や【 】などがあります。拝は最も敬意を表す動作で、腰を90度折ってひれ伏します。【 】は拝に次ぎ、45度腰を折る深【 】と15度腰を折る小【 】があります。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 礼 | 2. 蹲踞(そんきょ) |
| 3. 揖(ゆう) | 4. 辞儀(じぎ) |

➡『神社のいろは』50ページ「昇殿参拝の作法②正座と敬礼の作法について教えてください」

正解 3

問10

神様のお召し上がり物のことを指す言葉として、一般的にそぐわないものはどれでしょうか。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 御饌(みけ) | 2. お供え |
| 3. お品 | 4. 神饌(しんせん) |

➡『神社のいろは』52ページ「昇殿参拝の作法③修祓と神様へのお供えについて教えてください」

1. 東京護国社（ごこくしゃ）
2. 東京招魂社
3. 東京御霊社
4. 東京英霊社

⇒『神社のいろは』178ページ「明治時代に定められた社格について教えてください」の179ページ
正解 2

問 70

以下の文章の空欄【 】に入る言葉として正しいものを選んでください。

明治時代になって、神社は「国家の【 】」として、つまり国家が尊び祀る公的な施設として位置づけられました。

1. 宗祀（そうし）
2. 教会
3. 施設
4. 道徳

⇒『神社のいろは』178ページ「明治時代に定められた社格について教えてください」
正解 1

問 71 から問 100 は概ね『古事記』に関する問題です。

問 71

『古事記』は「天地（あめつち）初めて【 】時」という文言で始まります。【 】に入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 分かれし
2. 発（ひら）けし
3. 成りし
4. 生まれし

⇒『マンガならわかる！『古事記』』11ページ「第1章 天地初めて発けし時」の12ページ
正解 2

問 72

高天原（たかまのはら）には、最初に造化三神（ぞうかさんしん）が出現します。以下のうち、造化三神でないものを選んでください。

1. 天之御中主神（あめのみなかぬしのかみ）
2. 天之常立（あめのとこたちの）神
3. 高御産巢日（たかみむすひの）神
4. 神産巢日（かみむすひの）神

➡ 『マンガならわかる！『古事記』』 11 ページ「第1章 天地初めて発けし時」の13ページ
正解 2

問 73

伊邪那岐命は、亡くなった伊邪那美命を一目見たいと思い黄泉（よみ）の国へと追いかけて行かれました。しかし、その変わり果てた姿を見て逃げ帰ります。そして、最後に伊邪那岐命と伊邪那美命が岩を隔てて対峙された場所とはどこでしょうか。

1. 手間山（てまやま）
2. 恐山（おそれざん）
3. 幽宮（かくれみや）
4. 黄泉比良坂（よもつひらさか）

➡ 『マンガならわかる！『古事記』』 11 ページ「第1章 天地初めて発けし時」の33ページ、61ページ「第3章 宝剣あらわる」の74ページ
正解 4

問 74

天石屋戸（あめのいわやと）の前で神楽舞（かぐらまい）をされた神様がいます。この神懸（かみが）かりして舞われた神様とはどなたでしょうか。

1. 活津日子根（いくつひこねの）命
2. 伊斯許理度売（いしこりどめの）命
3. 玉祖（たまのやの）命
4. 天宇受売（あめのうずめの）命

➡ 『マンガならわかる！『古事記』』 41 ページ「第2章 天石屋戸」の54、46、50ページ
正解 4

問 75

次の文章の空欄【 】に入る言葉として正しいものを選んでください。

須佐之男（すさのおの）命は食べ物を用意するようにと言いつけました。さっそく【 】は、鼻や口、また尻からさまざまな食べ物を取り出して、色々に料理してすすめますと、須佐之男命はそのやり方を見て、【 】を殺してしまいました。

1. 大気津比売（おおげつひめの）神
2. 石巢比売（いわすひめの）神
3. 沫那芸（あわなぎの）神
4. 大戸惑女（おおとまといめの）神

➡ 『マンガならわかる！ 『古事記』』 41 ページ「第2章 天石屋戸」の58ページ、11 ページ「第1章 天地初めて発けし時」の24、25、26 ページ

正解 1

以下の歌を読んで問 76 と問 77 の設問に答えてください。

八雲（やくも）立つ 出雲八重垣（いずもやえがき）妻籠（つまご）みに 八重垣作る その八重垣を

問 76

この神詠（しんえい）は和歌の初めとされるもので、出雲の国名の起源ともされるものですが、この歌はどなたが詠まれたものでしょうか。

1. 櫛名田比売（くしなだひめ）
2. 足名椎（あしなづちの）神
3. 手名椎（てなづちの）神
4. 須佐之男命

問 77

この神詠は出雲のどこの地で詠まれたものでしょうか？

1. 稲佐（いなさ）
2. 須賀（すが）
3. 須佐（すさ）
4. 佐太（さだ）

➡ 『マンガならわかる！ 『古事記』』 61 ページ「第3章 宝剣あらわる」の69、62 ページ

問 76 正解 4 問 77 正解 2

問 78

大国主（おおくにぬしの）神は兄たちからの迫害を逃れるため、須佐之男命がいらっしやるところへ行くことになりました。ここでも試練を受けることになりますが、須佐之男命がいらっしやったところとはどこでしょうか。

1. 木国（きのくに）
2. 常世国（とこよのくに）
3. 根の堅州国（かたすくに）
4. 綿津見神（わたつみのかみの）国

➡ 『マンガならわかる！ 『古事記』』 61 ページ「第3章 宝剣あらわる」の79、78、95 ページ、141 ページ「第6章 ウミサチ・ヤマサチ」の145 ページ

問 79

以下の文章の【 】に入る言葉として正しいものを選んでください。

八千矛神（やちほこのかみ）を主人公とする「妻問（つまどい）」の場面には、5首の歌が出てきますが、それらを【 】といいます。後世には宮廷の宴でも謡われました。海人（あま）集団ゆかりの語部（かたりべ）と深い関係があるともいわれています。

1. 神語（かむがたり）歌
2. 国思（くにしのひ）歌
3. 国見（くにみ）歌
4. 酒楽（さかくら）の歌

→ 『マンガならわかる！『古事記』』 61 ページ「第3章 宝剣あらわる」の 92 ページ、207 ページ「第10章 倭建命の旅路」の 225 ページ、229 ページ「第11章 海の向こうへ」の 240、243 ページ

正解 1

問 80

大国主神（おおくにぬしのかみ）が宗像の奥津（おきつ）宮に鎮座される多紀理毘売命を娶って生まれた子は阿遲組高日子根神（あじすきたかひこねのかみ）ですが、この神様は奈良県の以下のどこの神社でお祀りされているでしょうか。

1. 高鴨（たかかも）神社
2. 葛城神社
3. 天香久山神社
4. 美保神社

→ 『マンガならわかる！『古事記』』 61 ページ「第3章 宝剣あらわる」の 92 ページ、99 ページ「第4章 国譲り」の 109 ページ

正解 1

問 81

「天孫降臨（てんそんこうりん）」の段です。天照大御神は天児屋（あめのこやねの）命、布刀玉（ふとだまの）命、天宇受売命、伊斯許理度売命、玉祖（たまのおやの）命の五柱の神・五伴緒（いつとものお）を天孫に従わせて降臨させました。この五伴緒は何のときに活躍された神々でしょうか。